

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 2 2 年 6 月
旭川医科大学

目 次

資料 1-1-1 医学科履修要項（抜粋）	1
資料 1-1-2 学生トレース支援システムの開発・活用状況	2
資料 1-1-3 学生トレース支援システムの概要	2
資料 1-1-4 入学センター活動報告書第2号（抜粋）	3
資料 1-1-5 入学センター活動報告書第3号（抜粋）	3
資料 1-1-6 医学科履修要項（抜粋）	4
資料 1-1-7 医学科履修要項（抜粋）	4
資料 1-1-8 医学科履修要項（抜粋）	4
資料 1-2-1 医学科における入学定員の変遷	5
資料 1-2-2 医学科における道内出身者比率の変遷	5
資料 1-2-3 専門看護師教育課程認定証	6
資料 1-3-1 教育センター組織図	7
資料 1-3-2 「高大病連携によるふるさと医療人育成の 取組」概要	8
資料 1-3-3 医療体験実習実施状況	8
資料 1-3-4 講義室設備一覧	9
資料 1-3-5 設備の新設・更新状況	9
資料 1-3-6 「学生による授業評価」実施要領（抜粋）	10
資料 1-3-7 F D活動の状況	10
資料 1-4-1 オフィスアワー一覧（抜粋）	11
資料 1-4-2 学生リーダーシップ賞授与要項	12
資料 1-4-3 保健管理センターの利用状況	12

資料 1-4-4 保健管理センターのしおり（抜粋）	13
資料 1-4-5 学術振興後援資金事業に関する要項（抜粋）	14
資料 1-4-6 留学生への奨学資金支援状況	14
資料 1-4-7 国際交流センター什器等整備状況	14
資料 2-1-1 学長裁量経費による研究資金の助成	15
資料 2-1-2 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム概要	16
資料 2-1-3 サテライトキャンパス（HI・RO・BA）概要	17
資料 2-2-1 関係規程の整備状況	18
資料 2-2-2 講演会，セミナーの開催状況	18
資料 3-1-1 大学院修士課程学生募集要項（抜粋）	19

資料 1－1－1 医学科履修要項（抜粋）

チュートリアル教育は本学の教育目標を達成するために展開され、第5学年から始まる臨床実習（クリニカル・クラークシップ）前までに必要とされる基本的な①知識、②技能、③態度を身に付け、将来にわたり医学・医療の進歩および発展に寄与できる基本的な能力育成のための方策の1つとして位置づけられます。

医学チュートリアルは第1学年に展開されるチュートリアルⅠ、第2学年に展開されるチュートリアルⅡおよび臨床実習前の第4学年に展開されるチュートリアルⅢ～Ⅵから成ります。

【医学チュートリアルⅠ】

チュートリアルⅠは、基礎生物学の演習としての性格を持っており、基礎生物学で使用する教科書を使って以下の各項目を達成することを目標とします。

1. 生命科学関連の用語の意味を正しく理解し、教科書を読み解く知識を獲得する。
2. 図書館やインターネット等を利用した適切な情報の検索法を学び、得られた情報を学習に活用できる能力を養う。
3. 生命現象の本質を科学的に捉え、それを論理的に説明できる能力を養う。
4. 自らが課題を設定し、それを追究する能動型学習の態度を身につける。

【医学チュートリアルⅡ】

チュートリアルⅡは、グループダイナミクスを通して自ら進んで基礎医学分野に関する課題解決を行うことができるようになるとともに、問題発見能力も培うことを目的とします。具体的な到達目標としては以下の通りです。

- (1) 医学の基礎となる事項について、自ら進んで学ぶことにより理解し、自分の言葉で説明できる。
- (2) 自分で理解が充分でないことについて、それを自覚して適切な方法で学ぶことができる。
- (3) 自ら問題点を見出し、それを解決することができる。
- (4) グループ活動に積極的に取り組むことができる。

【医学チュートリアルⅢ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ】

チュートリアルⅢ～Ⅵでは、以下の各項目を達成することを目標とします。

1. 自学自習の態度を習慣づける。
2. 他者との協調性を高め、コミュニケーション能力を修得する。
3. プレゼンテーション能力を修得する。
4. 広い視点から自ら考え的確に問題点を抽出できる能力を修得する。
5. 問題解決のための情報の収集・分析能力を修得する。
6. 医師、医学者として求められる高い倫理観を修得する。

資料1-1-2 学生トレース支援システムの開発・活用状況

(平成20年度)

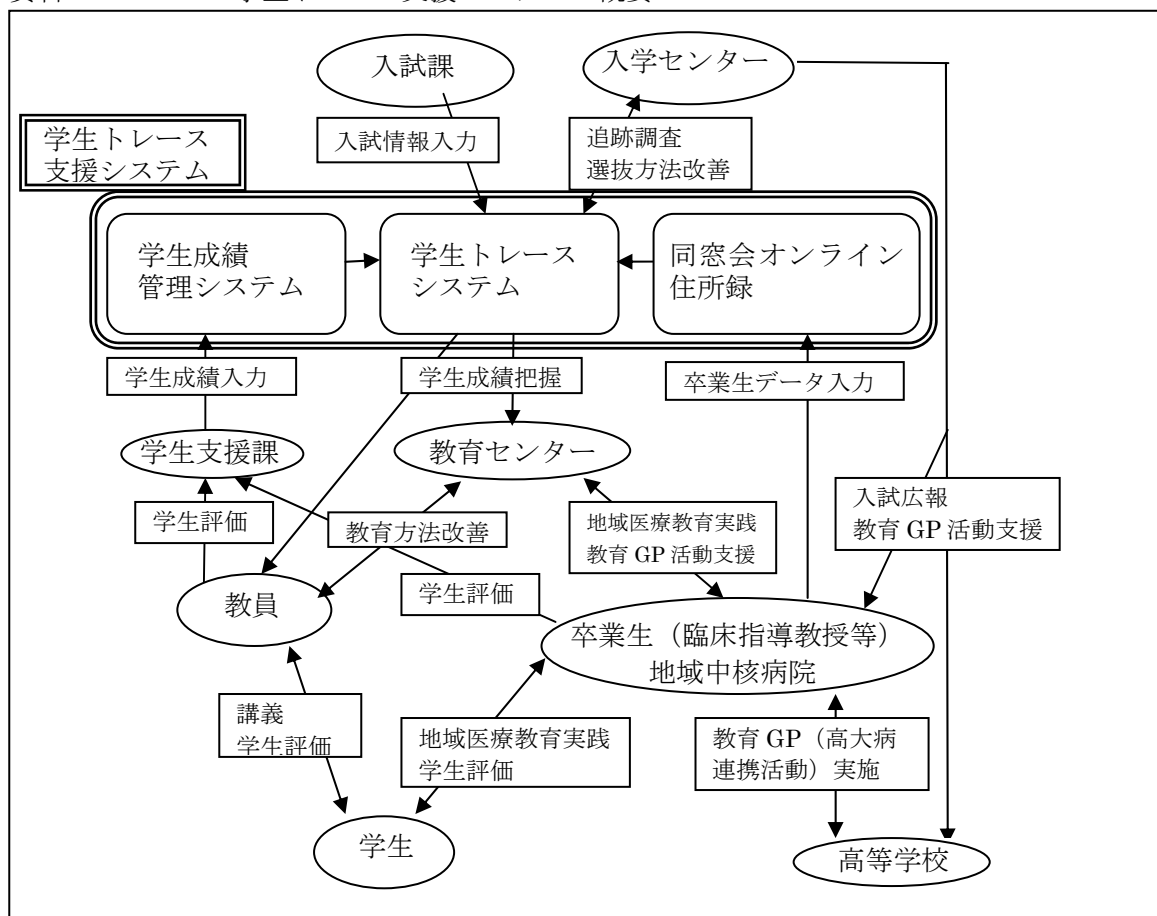
- ・教育センターと共に推進している文部科学省教育GP事業「高大病連携によるふるさと医療人育成の取組」と連携して、学生トレース支援システムを再構築（資料1-1-3）
- ・学生トレースシステムを利用して、AO入試による入学者の知識・態度・技術指標における評価について、他の入試区分別学生の評価と比較検討調査を実施し、入学センター活動報告書第2号に公表し、学内教員に周知（資料1-1-4）

(平成21年度)

- ・電子化されていなかった開学から平成10年までの入試データ、教務データを学生トレースシステムのデータに追加
- ・学生トレース支援システムを、オンライン化し、ID・パスワードを用いた教員のアクセスを可能とし、教員が学生成績を把握し、教育方法の改善に利用可能なシステムとした（資料1-1-3）。
- ・医学部共用試験成績（CBT・OSCE）について、異なる入試区分（AO入試、推薦入試、前期日程、後期日程、編入学）学生の比較追跡調査を実施し、結果を、「全国大学入学者選抜研究連絡会議」（5月）で発表、入学センター活動報告書第3号に公表し、学内教員に周知（資料1-1-5）

(出典：入学センター資料)

資料1-1-3 学生トレース支援システムの概要



(出典：入学センター資料)

資料 1-1-4 入学センター活動報告書第 2 号（抜粋）

医学科 A O 入試学生 の 臨床実習 における 評価

臨床実習初年度を終えた旭川医科大学 A O 入試 1 期生の知識、態度、技術指標における評価を、他の入試区分別学生の評価と比較検討した。異なる入試区分において、知識指標では有意差は認められなかったが、態度・技術指標では A O 入試合格者は、学力検査のみで選抜している後期日程よりも、有意に高値であり、人物評価重視の選抜をすることは、臨床実習教育を受けるにふさわしい学生を選抜する上で有用であることが示唆された。

学力に偏らない選抜としての A O 入試学生が、態度・技術指標関連項目において、前期・推薦入試学生に比べ遜色なく高い値を示していること、しかも知識指標において何ら低い値となっていないことは、本学の教育目標を十分に達成していることを示している。したがって、本学で A O 入試において用いている面接等の人物評価重視の選抜方法が、本学の教育目標を達成させる学生を選抜する上で妥当であることを示していると思われる（表 1 参照）。

表 1 入院、外来診療（実習）における知識・態度・技術指標関連項目の値（6 段階評価）

入試区分	入院診療（実習）			外来診療（実習）		
	知 識	態 度	技 術	知 識	態 度	技 術
A O	4.10±0.73	4.47±0.71	4.23±0.73	4.15±0.82	4.50±0.69	4.24±0.72
前期	4.07±0.89	4.38±0.76	4.16±0.86	4.23±0.99	4.46±0.89	4.30±0.98
推薦	4.21±0.94	4.56±0.87	4.31±0.93	4.30±1.02	4.65±0.92	4.36±1.02
後期	4.03±0.83	4.31±0.77	4.06±0.77	4.10±0.89	4.33±0.80	4.10±0.82
編入	4.18±0.90	4.36±0.71	4.17±0.77	4.20±0.89	4.38±0.78	4.14±0.86

注）平均±標準偏差を示す。 は最大値， は最小値を示す。

資料 1-1-5 入学センター活動報告書第 3 号（抜粋）

医学部共用試験成績（C B T・O S C E）と入学者選抜方法の違い

全国医学部において、臨床実習前に実施されている共用試験（C B T：Computer Based Test，O S C E：Objective Structured Clinical Examination）の評価を異なる入試区分において比較検討した。各入試区分において、知識評価指標である C B T では有意差は認められなかった。態度・技術評価指標である O S C E では A O 入試合格者は、一般選抜の学生よりも高得点を示した。特に医療面接においては、もっとも高得点を示した（表 2、表 3 参照）。

表 2 入試区分別「態度評価指標」、「技術評価指標」の推移（100 点満点）

区 分	態度評価指標					技術評価指標				
	A O	前期	後期	推薦	編入	A O	前期	後期	推薦	編入
2006 年度	93.2	90.2	90.2	93.0	91.9	86.5*	81.3	80.4	84.7	82.2
2007 年度	96.0	95.7	94.0	93.6	94.3	89.5	89.0	87.7	90.5	88.5
2008 年度	95.1	92.8	92.4	93.4	94.2	87.7	87.9	87.2	89.0	88.8

* p<0.05（後期にのみ）

表 3 入試区分別「医療面接」結果の推移（100 点満点）

区 分	A O	前期	後期	推薦	編入
2006 年度	77.4	70.6	72.6	78.0	76.5
2007 年度	91.6*	89.0	85.8	88.5	84.4
2008 年度	86.4**	81.6	80.3	81.1	81.6

* p<0.05（推薦を除く） ** p<0.05

資料 1-1-6 医学科履修要項（抜粋）

【早期体験実習Ⅰ】

早期体験実習Ⅰは、医療・保健・福祉施設の現場を早期に体験学習することにより、医療人として必要な学習への関心を高め動機づけをすることを目的にしています。医学科、看護学科合同実習とすることで、医療人として必要なことを体験実習を通じて体得していただきたいと思います。この実習の教育目標は、以下のように設定しています。

（一般目標）

早期体験実習を通じて、良いコミュニケーションとは何かを知り、将来あるべき医療人の姿について述べることができる。

（行動目標）

1. 他職種の医療人との良いコミュニケーションを築くことができる。
2. 医療・保健・福祉施設の患者さんとの良いコミュニケーションを築くことができる。
3. 将来あるべき医療人像について説明することができる。

資料 1-1-7 医学科履修要項（抜粋）

【早期体験実習Ⅱ】

早期体験実習Ⅱでは、北海道をフィールドにして、地域医療の問題点を考察します。まず、対象地域を決定し、その地域での問題点をKJ法にて抽出し、調査の概要をグループ内で決定します。プレ発表会での討議のあと、調査対象とする機関を決定し、アポイントをとって現地での調査を行います。調査の結果は、最終発表会で報告することになります。

（一般目標）

地域医療の現状の把握と問題点を抽出し、解決法を考察することにより、地域医療の実態を把握し、見識を深めるとともに、その重要性和本質を理解する。

（行動目標）

- (1) 地域医療の問題点を抽出し、解決策を考えることができる。
- (2) 必要な情報を図書館やインターネット、フィールドワークを通じて収集できる。
- (3) グループ内で積極的に作業・議論に参加できる。
- (4) 収集した情報をデータでまとめ、的確に発表することができる。
- (5) 協調性を持ってチームとして一緒に行動できる。

資料 1-1-8 医学科履修要項（抜粋）

【地域医療学】

（履修目的）

新カリキュラム実施に伴う新規開講科目であり、地域の医療・保健・福祉の現場の第一線で活躍している先輩医師（いずれも本学卒業生）の講演を通し、北海道の地域医療（地域保健・地域福祉を含む）の現状と課題を見据え、各自の将来展望に役立てる。

（到達目標）

- ①北海道の面積・地形・人口・主要自治体・産業など、特色を説明できる。
- ②北海道の地域医療（保健・福祉）の現状について概説できる。
- ③北海道の地域医療（保健・福祉）の課題（問題点）を指摘できる。
- ④北海道以外の地域医療（保健・福祉）にも興味・関心がもてる。
- ⑤将来展望のなかに地域医療（保健・福祉）への貢献を位置づけることができる。

資料１－２－１ 医学科における入学定員の変遷

入学 年度	募 集 人 員								合 計 (入学定員)	
	一般選抜		AO 入試 (全国枠)	AO 入試 北海道地域枠 (北海道地域枠)	推薦入試 (全国枠)	地域枠 推薦入試 (道北・道 東地域枠)	小計	2 年次後期編入学		
	前期 日程	後期 日程						(全国枠)		(北海道 地域枠)
16	20	50	10		10		90	10		100
17	20	50	10		10		90	10		100
18	20	50	20				90	10		100
19	20	50	20				90	10		100
20	20	40	20			10	90	5	5	100
21	40	17		35		10	102	5	5	112
22	40	22		40		10	112	5	5	122

(出典：事務局資料)

資料１－２－２ 医学科における道内出身者比率の変遷

入学 年度	入学 者数	内 訳			
		道内出身者		道外出身者(※)	
		人数	入学者数に 対する比率	人数	入学者数に 対する比率
16	100	51	51.0%	49	49.0%
17	100	31	31.0%	69	69.0%
18	100	35	35.0%	65	65.0%
19	101	34	33.7%	67	66.3%
20	100	51	51.0%	49	49.0%
21	112	75	67.0%	37	33.0%

※私費外国人留学生を含む。

(出典：事務局資料)

第128号

有効期限 2018年3月

専門看護師教育課程

認定証

旭川医科大学

学長

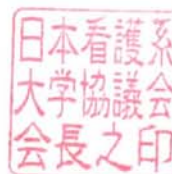
吉田 晃敏 様

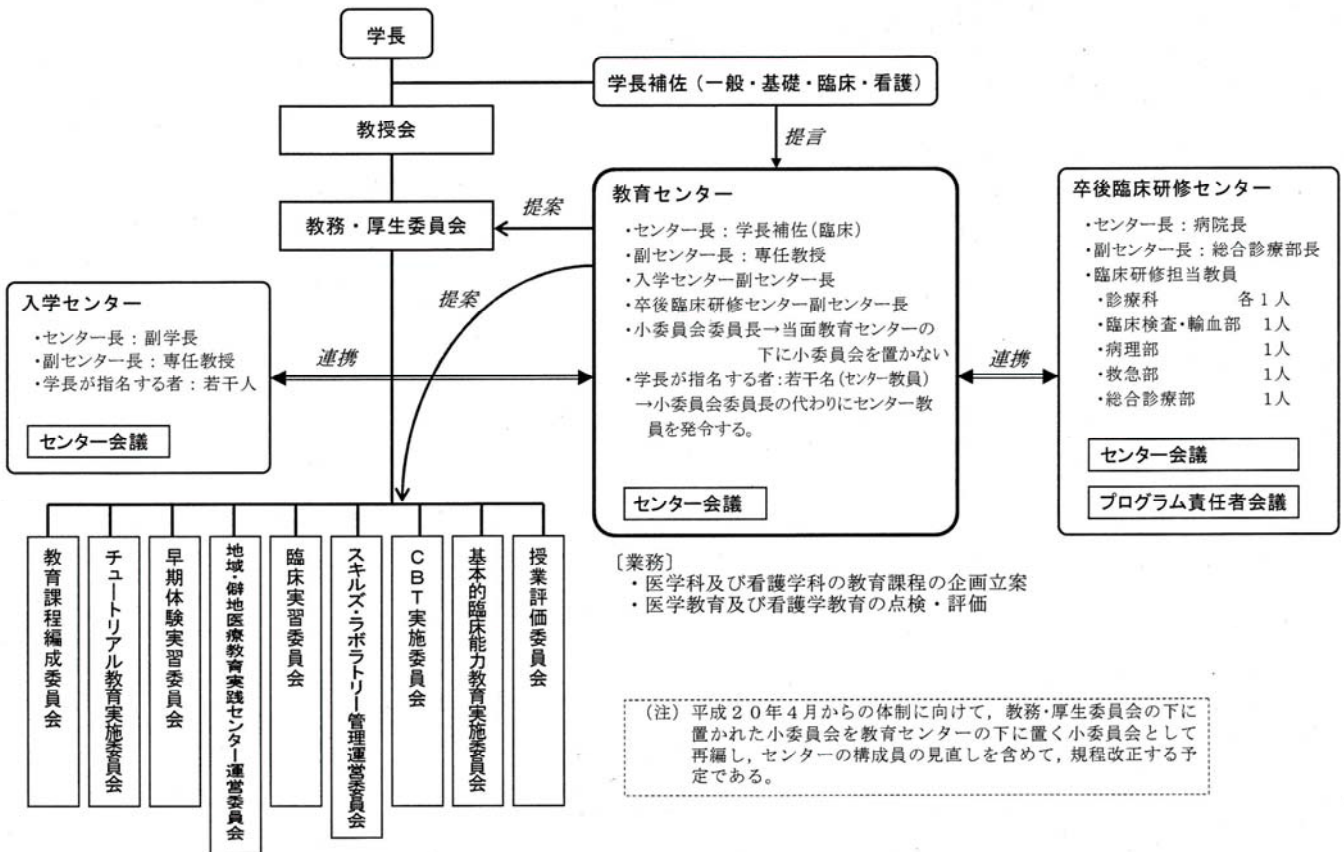
貴大学院の申請による医学系研究
科臨床実践看護学領域(がん看護専
門看護師養成コース)を、がん看護分
野の専門看護師教育課程と認定し、
この証を交付します。

2010年2月12日

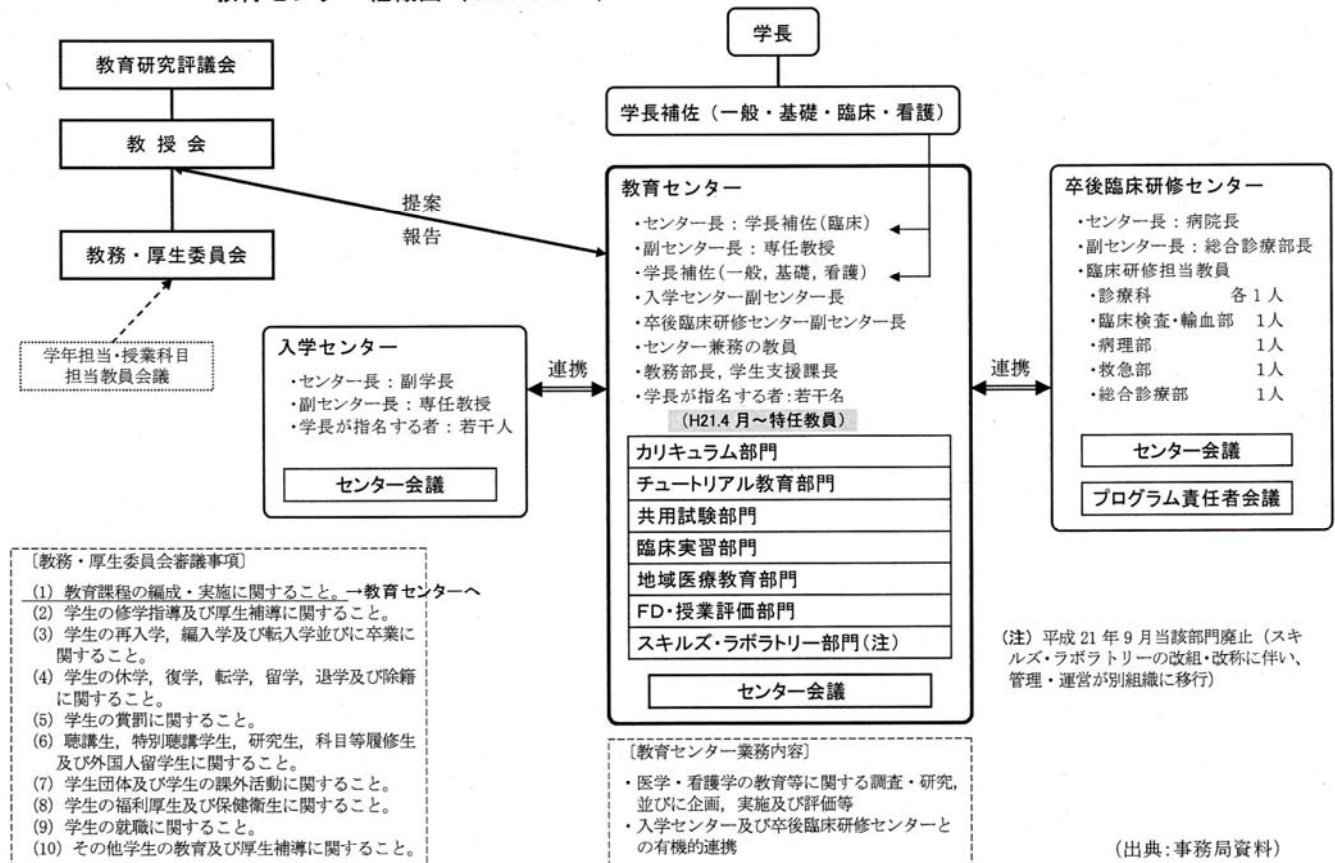
日本看護系大学協議会

会長 中山 洋子





教育センター組織図 (H20. 4. 1~)



資料 1－3－2 「高大病連携によるふるさと医療人育成の取組」 概要

－高大病連携によるふるさと医療人育成の取組－

「地域社会が地域の医師を育む」という視点から、医療機関である本学が、地域の高等学校や地域医療機関と連携し、高校生に「医療人としての職業観」の自覚を促すことを目的として実習体験等を提供することにより、その後の入試制度から学部教育、卒後研修までを一貫統合して、将来地域医療に従事する医療職者、すなわち「ふるさと医療人」を育もうという取組です。

北海道内各地の医師を志す若者が、大学卒業後、道内の比較的医療が手薄な地域に従事すること、及び卒業後も地域医療のヘルスコーディネーターとして活躍できるように生涯学習を実践し後継者の育成が出来る人材となることを目標として、平成 20 年度から平成 22 年度までの間取り組むものです。

(出典：旭川医科大学概要)

資料 1－3－3 医療体験実習実施状況

実施年月	実習施設	参加高校	参加者数
平成 21 年 8 月	函館五稜郭病院	函館中部高校	41 名
〃	名寄市立総合病院	旭川東高校	5 名
〃	富良野協会病院	〃	6 名
〃	釧路労災病院	釧路湖陵高校	9 名
平成 21 年 10 月	帯広徳洲会病院	帯広柏葉高校	6 名
平成 21 年 12 月	おたる北脳神経外科	小樽潮陵高校	7 名
平成 22 年 1 月	札幌東徳洲会病院	札幌東高校	9 名
〃	札幌社会保険総合病院	札幌西高校	30 名
〃	滝川市立病院	滝川高校	8 名
〃	江別市立病院	岩見沢東高校	10 名
〃	道東脳神経外科病院	北見北斗高校	13 名
〃	新日鐵室蘭総合病院	室蘭栄高校	32 名
〃	市立室蘭総合病院	〃	20 名
計			196 名

(出典：事務局資料)

資料 1－3－4 講義室設備一覧

講義室名	面積 (㎡)	収容定員 (人)	机・椅子	パソコン ※	VTR・DVD	テレビ・モニター	プロジェクター	マイク設備	学内LAN	備 考
第1講義室	83	55	36 可動	－				－		
第2講義室	82	55	46 可動	－				－		
第3講義室	80	60	56 可動	－				－		
第5講義室	149	140	140 定	－						
第6講義室	148	140	140 定	－						
第7講義室	148	142	142 定	－						
大講義室	254	201	201 定			－				
講義室A	94	70	69 可動	－						
講義室B	90	70	70 可動	－						
講義室C	94	70	61 可動							
講義室D	102	70	70 可動			－				
臨床第1講義室	298	265	265 定							
臨床第2講義室	162	140	140 定							
臨床第3講義室	150	131	131 定							

※パソコンは、必要に応じて携行使用

(出典：事務局資料)

資料 1－3－5 設備の新設・新状況

	設 備 名	種別	講 義 室 等 名
平成 17 19 年 度	プロジェクター	新設	第1・第2・第3講義室
	プロジェクター	新	大講義室，第5・第6講義室
	モニター	新設	講義室B・C
	DVD 置	新設	第5・第6・第7講義室
	DVD 置	新	第2・第3・第4実習室
	VTR 置	新	第2・第3・第4実習室
	マイク，スーカー等	新	第2・第3・第4実習室，大講義室
平成 20 年 度 以 下	プロジェクター	新	臨床第3講義室，第7講義室，講義室B・C，大講義室
	モニター	新	臨床第3講義室，第5講義室，講義室A，解 実習室
	マイク，スーカー等	新	臨床第3講義室，第5・第6・第7講義室，大講義室
	パソコン	新	情報処理実習室，講義室C・D，臨床第1・第2・第3講義室，大講義室，チュートリアル室（全15室），ゼミ室（全5室），図書館

(出典：事務局資料)

資料 1－3－6 「学生による授業評価」実施要領（抜粋）

教授会制定：平成13年 9 月12日

最 終 改 正：平成21年 3 月19日

1. 対象学生 学部学生

2. 実施対象

(1) 「講義に対する学生評価」:

講師以上の授業担当教員に対して行う。ただし、助教については授業科目のコーディネータとなっている者を対象とする。授業担当教員が自分の担当している授業科目の中から一つを選択し、その科目に対して行う。

(2) 「科目全体の講義企画に対する学生評価」: 総合科目に対して行う。

「実習企画（または演習企画）に対する学生評価」: 実習又は演習に対して行う。

「臨地看護学実習企画に対する学生評価」: 臨地看護学実習に対して行う。

3. (省略)

4. 評価方法及び内容

無記名とし、5段階評価と自由記載を併用する。(以下省略)

5. (省略)

6. (省略)

7. 教員へのフィードバック方法

(1) 集計結果と記述部分を当該授業担当教員へ配布する。但し、「企画に対する学生評価」の結果については、当該コーディネータに配布する。

(2) 上記集計結果を基に「講義に対する学生評価」分については、全教員の結果と順位を学長へ報告する。

8. (省略)

9. (省略)

10. 授業改善の報告とFD行事

(1) 「講義に対する学生評価」において、得点が3点未満の教員は、講義の実情や評価の内容に対する改善策等について、学長へ報告する。

(2) 上記に該当した教員に対しては、教育センターFD・授業評価部門が企画するFDを目的とした行事への参加など、授業改善策に向けた活動を行うよう、教育センターから推奨する。

(出典：事務局資料)

資料 1－3－7 FD活動の状況

区 分	平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度	
	開催数	参加者	開催数	参加者	開催数	参加者
ワークショップ	0 回	0 人	2 回	83 人	4 回	74 人
講 演 会	2 回	148 人	3 回	239 人	3 回	149 人

(出典：事務局資料)

資料1-4-1 オフィスアワー一覧(抜粋)

オフィスアワー 一覧表

オフィスアワーとは、学生の皆さんからの授業に関すること、履修に関することなど、質問や相談等に応じるための時間帯をいいます。
学生の皆さんが、気軽に研究室を訪問してオフィス・アワーを積極的に活用することで、履修上の問題解決に役立てることを目的としています。

講座・学科目名	氏 名	実施場所	実施日時	摘 要
歴史・哲学	藤 尾 均	講義実習棟4F 歴史・哲学教員室	木 10:00-17:00	気軽に訪問してください。(h@asahikawa-med.ac.jp)
心理学	高橋 雅治	講義実習棟4F 心理学研究室	毎週火曜12:20-13:20	気軽に訪問してください。
	池上 将永	講義実習棟4F 心理学研究室	毎週火曜12:20-13:20	気軽に訪問してください。
数学	山内 一也	講義実習棟4F 数学教員室	随時	一般教育事務室に連絡してください。 (一般教育事務室 68-2740)
数理情報科学	高橋 龍尚	講義実習棟4F 数理情報科学教員室	火・水 10:00-12:00	気軽に訪問してください。(y@asahikawa-med.ac.jp)
物理学	本間 龍也	講義実習棟3F 物理学教室	随時	わからないことがあったら気軽に質問に来ること。 (h@asahikawa-med.ac.jp)
	安濃 英治	講義実習棟3F 物理学教室	随時	わからないことがあったら気軽に質問に来ること。 (h@asahikawa-med.ac.jp)
	延兼 啓純	講義実習棟3F 物理学教室	随時	わからないことがあったら気軽に質問に来ること。 (h@asahikawa-med.ac.jp)
化学	中村 正雄	講義実習棟3F 化学教授室	随時	気軽に訪問してください。
	平塚 寿章	講義実習棟3F 化学准教授室	随時	事前にメールで確認してください。 (h@asahikawa-med.ac.jp)
	穴戸 直美	講義実習棟3F 化学研究室	月～金 午前	気軽に訪問してください。(tel 68-2725)
生物学	立野 裕幸	講義実習棟3F 生物学教授室	随時	気軽に訪問してください。
	日下部博一	講義実習棟3F 生物学准教授室	随時	気軽に訪問してください。
	日野 敏昭	講義実習棟3F 生物学研究室	随時	気軽に訪問してください。
生命科学	林 要喜知	看護学科棟4F 410号室	随時	電話(内線2732)やメール(h@asahikawa-med.ac.jp)でも構いませんが、気軽に訪問してください。
英語	内藤 永	講義実習棟4F 英語教員室(内藤)	随時	メール(h@ed.asahikawa-med.ac.jp)あるいは授業中にアポイントメントをとると確実です。
	三好 暢博	講義実習棟4F 英語教員室(三好)	随時	事前にメールで確認して下さい。 (h@asahikawa-med.ac.jp)
ドイツ語	田中 剛	看護学科棟4F 411号室	水 13:00-14:00	気軽に訪問してください。(h@asahikawa-med.ac.jp)
解剖学講座 (機能形態学分野)	吉田 成孝	講義内図書室	金曜午後5時-6時	指定時間外でも対応可
	板東 良雄	講義内図書室	金曜午後5時-6時	指定時間外でも対応可
解剖学講座 (顕微解剖学分野)	渡部 剛	解剖学講座(顕微解剖学分野)多目的研究室	月～金 17:00-18:00	渡部が会議等で不在の場合には平義樹講師が対応します。
生理学講座 (自律機能分野)	高井 章	講義セミナー室	随時	前もって電話又はメールで相談してください。 (h@asahikawa-med.ac.jp)
	橋本 真明			前もって電話又はメールで相談してください。 (h@asahikawa-med.ac.jp)
	大日向 浩			前もって電話又はメールで相談してください。 (h@asahikawa-med.ac.jp)
	宮津 基			前もって電話又はメールで相談してください。 (h@asahikawa-med.ac.jp)
生理学講座 (神経機能分野)	柏柳 誠	生理神経機能スタッフ室	随時	事前にメールで確認(h@asahikawa-med.ac.jp)
	高草木 薫	准教授室		事前にメール 部屋に直接来ていただいてもOK
	野口 智弘	生理神経機能スタッフ室		直接来てください
生化学講座 (細胞制御科学分野)	谷口 隆信	基礎臨床研究棟8階生化学講座細胞制御科学分野 図書室	10時～16時	まずは、電話で(内線2342 外線68-2342)連絡してください。
	加藤 剛志			
	加藤 早苗			
	竹内 昌之			
	仙葉 慎吾			

(出典：履修要項)

資料 1-4-2 学生リーダーシップ賞授与要項

(趣旨)

第1 この要項は、旭川医科大学(以下「本学」という。)が定める教育理念・目標に基づき、医師及び看護職者に求められる基本的な資質としてのリーダーシップの素養を身につけることを推奨するために、本学学生が、本学又は社会において、目標実現に向けて積極的に行動する取組みを行い、成果をあげた場合に表彰し、これを称えとともに、学生活動の活性化を図ることを目的とする。

(名称)

第2 前項の表彰の名称は、「旭川医科大学学生リーダーシップ賞」(以下「学生リーダーシップ賞」という。)とする。

(受賞対象者)

第3 受賞対象者は、本学に在籍する学部学生とする。

(受賞候補者の推薦)

第4 受賞候補者の推薦は、自薦又は他薦とし、推薦にあたっては別紙様式により学長に申請するものとする。

(受賞者の決定)

第5 受賞者の決定は、大学運営会議の議に基づき学長が決定する。

(表彰)

第6 表彰は、学長が賞状を授与することにより行う。

(庶務)

第7 学生リーダーシップ賞に関する庶務は、教務部学生支援課において処理する。

(雑則)

第8 この要項に定めるもののほか、学生リーダーシップ賞に関し必要な事項は学長が別に定める。

附 則

この要項は、平成 20 年 9 月 3 日から実施する。

(出典：旭川医科大学規程集)

資料 1-4-3 保健管理センターの利用状況

(単位：人)

区 分	利用者	健康相談			応急処置	検査	その他	延利用者数
		身体面	精神面	計				
平成 18 年度	2,991	6,063	369	6,432	1,577	256	523	8,788
平成 19 年度	2,962	6,396	478	6,874	1,638	272	479	9,263
平成 20 年度	3,165	6,885	298	7,183	1,795	295	406	9,679
平成 21 年度	3,144	6,462	562	7,024	1,655	157	926	9,762

(出典：旭川医科大学概要)

受けられるサービスの内容と利用法Ⅰ

保健管理センターの開所時間等
開所時間 9:00～16:30 (土・日曜日及び休日は休所)
連絡電話 D.I0166 - 68 - 2768
FAX 0166-68-2769

健康診断 健康の自己管理の第一歩…全員が必ず受けましょう
一般定期健康診断及び特別健康診断を実施しています。
問題があると思われる場合には、再検査の実施や精密検査の指示を行い、異常の早期発見に努め、疾病に対する適切な治療の指導を行っています。

平成20年定期健康診断 (全学生対象)
(1) 日 時 第1回 平成20年 4月9日(水) 医学科第4学年、看護学科第3学年
第2回 平成20年 4月16日(水) 医学科第1学年、医学科第3学年
第3回 平成20年 4月24日(木) 医学科第2学年、看護学科第1学年
第4回 平成20年 5月13日(火) 看護学科第2学年
※医学科第5・6学年、看護学科第4学年及び大学院生また外国人留学生は、上記日程の都合の良い日に受診可能とする。

※実施時間 12:30～14:30
保健管理センター、福利厚生棟2階、学生玄関ホール

(2) 場 所 胸部X線撮影 (外部委託:読影は第一内科)、尿検査 (外科委託) 身長・体重測定、血圧測定、視力検査、内科検診 (血圧再検を含む)、血液検査、心電図検査 (外部委託:第1学年、平成19年度医学科第2次後期編入学生、看護学科第3年次編入学生)、HBs抗原・抗体検査 (医学科第4学年・看護学科第3年) HBs抗原・抗体検査等 (外部委託:外国人留学生)、風疹・麻疹・おたふくかぜ・水痘ウイルス抗体価検査 (外部委託:第1学年) 医学科、看護学科

(3) 検査項目

受けられるサービスの内容と利用法Ⅱ

B型肝炎ワクチン接種
(1) 対 象 医学科第4学年及び看護学科第3学年対象 (定期健康診断の抗体検査の無い学生)

(2) 日 時 第1回 平成20年 4月22日(火)・23日(水)・24日(木)
第2回 平成20年 5月26日(月)・27日(火)・28日(水)
第3回 平成20年10月22日(水)・23日(木)・24日(金)
採血日 平成20年11月26日(水)・27日(木)・28日(金)
(風疹・麻疹・おたふくかぜ・水痘ウイルスにかかる抗体検査及び医学生は放射線従事者血液検査も実施)
※実施時間 16:30～17:30

(3) 場 所 福利厚生棟2階 5セミナー室

健康診断 日頃の健康の管理と増進のために
医師 (内科、内科・外科、精神科神経科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、婦人科、歯科) による健康相談を行っています。
内科と内科・外科は、毎週定期に相談に応じておりますので、必ず決められた曜日・時間内に相談してください。
その他の相談希望者は、指定された定期相談日の前日までに、保健管理センターへ申し込んでください。(電話や手紙でも結構です)
定期相談日は、4頁の「健康相談日」を参照にしてください。

悩み事相談
保健管理センター専任担当医師及び精神科神経科医師また保健師が皆さんの悩みの相談に応じています。
心の健康を保つためには、いつまでも一人で悩んでいないで、気軽に相談に来てください。個人の秘密が漏れるようなことは決してありません。

応急処置
授業中及び課外活動中のケガや発熱、頭痛、腹痛等に対する応急処置を行っています。
授業や試験の時間に気分が悪くなった場合は、一時的に休養することも

資料 1－4－5 学術振興後援資金事業に関する要項（抜粋）

第1 この要項は、旭川医科大学(以下「本学」という。)が創設30周年を記念して設立した旭川医科大学学術振興後援資金(以下「後援資金」という。)を用いて実施する支援事業(以下「支援事業」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

第2 支援事業は、次のとおりとする。

- (1) 学生及び若手研究者の学会派遣事業
- (2) 若手研究者の研究活動助成事業
- (3) 若手研究者の国際会議への派遣事業
- (4) 地域医療機関等への視察事業
- (5) 国際交流協定大学等との交流事業
- (6) 国際交流に関する情報収集事業
- (7) 留学生の支援事業
- (8) その他学長が必要と認めた事業

(出典：旭川医科大学規程集)

資料 1－4－6 留学生への奨学資金支援状況

区 分	所属等	人数	支援金額
平成 19 年度	博士課程学生	1 名	360,000 円
平成 20 年度	博士課程学生	1 名	360,000 円
平成 21 年度	博士課程学生	2 名	570,000 円

(出典：事務局資料)

資料 1－4－7 国際交流センター什器等整備状況



(出典：事務局資料)

資料 2-1-1 学長裁量経費による研究資金の助成

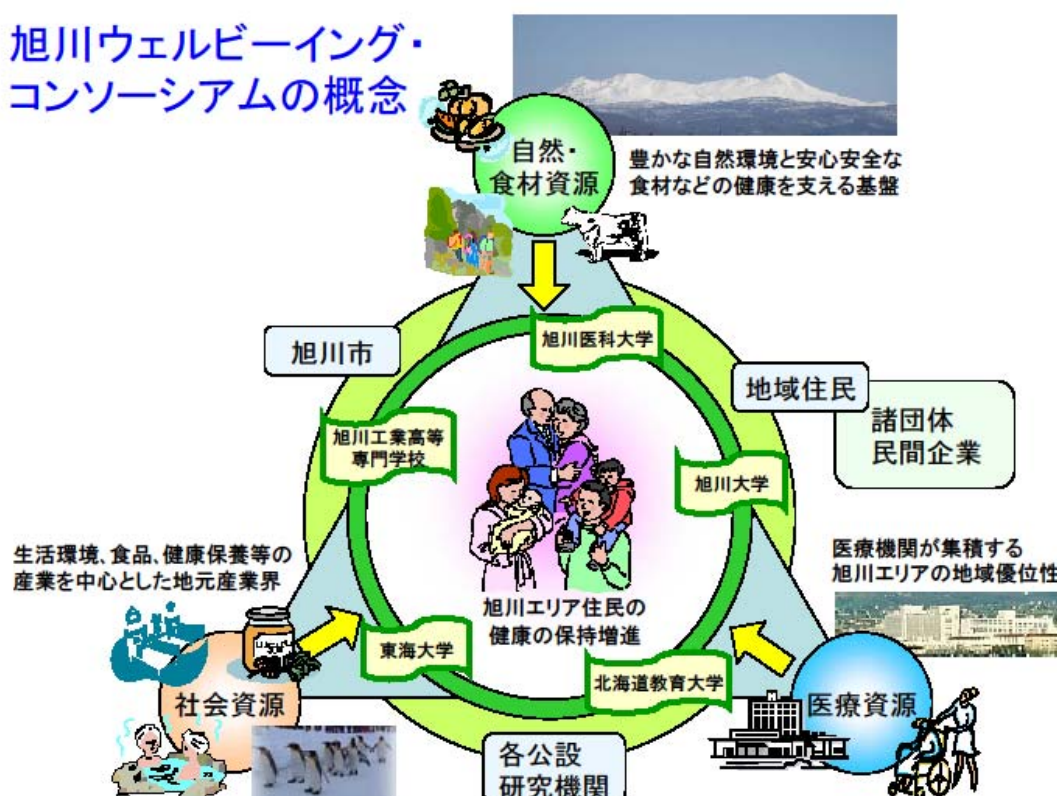
区 分	研 究 形 態	件 数	金 額 (千円)
平成 19 年度	個別研究 (若手研究者対象)	20	10,000
平成 20 年度	個別研究 (若手研究者対象)	20	15,000
平成 21 年度	プロジェクト研究 (2 件)	34	43,000
	個別研究 (若手研究者対象) (32 件)		

(出典：事務局資料)

旭川ウェルビーイング・コンソーシアムの理念・目的

旭川エリアが有する豊かな自然環境、森林、温泉、安心安全な農畜産物等の健康保養資源を基盤として、地域資源に根ざした居住・生活環境、農畜産・食品加工製造、健康保養・観光等の産業を中心とした産業界との協働と、圏域住民と行政の自主的・積極的な参加のもとに、医療機関が集積する旭川エリアの地域優位性を活用し、旭川医科大学をはじめとする高等教育機関・公設研究機関等を中心としたコンソーシアムを形成し、医科学的エビデンスに基づいた諸取組みを継続的に実践することにより、圏域住民の身体的・精神的・社会的な健康(ウェルビーイング)を達成するとともに旭川エリアの地域振興とを図ることを目指す。

旭川ウェルビーイング・コンソーシアムの概念



(出典:旭川ウェルビーイング・コンソーシアムHP)

資料2-1-3 サテライトキャンパス (HI・RO・BA) 概要

①旭川医科大学
〒070-0610
北海道旭川市緑が丘2-1丁目1番1号
TEL (代表) 0166-66-2111
TEL (総機) 0166-66-2189
URL <http://www.asahikawa-med.ac.jp>

②旭川大学
③旭川大学女子短期大学部
〒070-0601
北海道旭川市永山3-23丁目1番9号
TEL (代表) 0166-48-1410
TEL (総機) 0166-48-3121
URL <http://www.asahikawa-u.ac.jp>

④北海道教育大学旭川校
〒070-0621
北海道旭川市北戸町2丁目
TEL (代表) 0166-59-1410
TEL (総機) 0166-59-1204
URL <http://www.asahikawa-u.ac.jp>

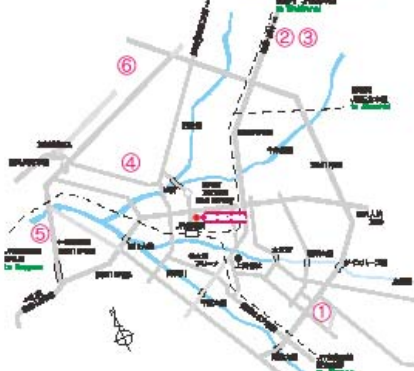
⑤東海大学旭川キャンパス
〒070-0601
北海道旭川市神楽町2-24
TEL (代表) 0166-61-5111
TEL (総機) 0166-61-5111
URL <http://www.u-tokei.ac.jp/about/campus/asahikawa/index.html>

⑥旭川工業高等専門学校
〒071-8142
北海道旭川市豊光台2-2丁目1番6号
TEL (代表) 0166-55-8000
TEL (総機) 0166-55-8130
URL <http://www.asahikawa-nd.ac.jp>



HI・RO・BA
(広場)
教育ネットワーク旭川 サテライトキャンパス

市民が集い
学生が交流し
教職員が活動する




〒070-0034 旭川市4条通8丁目買物公園
Tel & Fax 0166-26-0338
E-mail: hiroba@jimu.asahikawa-med.ac.jp
URL <http://www.asahikawa-med.ac.jp/conso/index.html>

HI・RO・BA
(広場)
教育ネットワーク旭川 サテライトキャンパス

市民が集い
学生が交流し
教職員が活動する



文部科学省 平成21年度採択事業
「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」

実践力のある地域人材(財)を育成します

6 高等教育機関が連携
道北の拠点都市旭川には、4 大学・1 短大・1 高专の6つの高等教育機関があります。
それぞれ異分野での教育の特色を生かし、これらが連携することにより、新しい発想・新たなステージへと発展させ、実践力のある地域人材を育成します。
教育ネットワーク旭川 HI・RO・BA (広場) は「旭川ウェルビーイング・コンソーシアム」を構成する表面記載の各機関による大学連携組織が運営します。
これからの時代に求められるキーワードの一つに健康・食・環境があります。これらを主なテーマに6大学等が個々に専門的に学び研究している分野を連携することで、より高度のレベルに引き上げ、社会に貢献します。
市民の皆さん、企業・各種団体・行政などの助言協力をいただきながら取り組んでまいります。

サテライトキャンパス HI・RO・BA を開放
4条買物公園に6大学共同の「教室」を開設しました。学生・教職員と、市民のみなさん、ビジネスマン、行政マン、ボランティアの皆さん等とともに、新しい街づくりに取り組む場になればと願っています。

● 学生に対し

- 他大学等の学生・教員との交流による広い分野の知識の習得、異分野の発想・発見の場
- ▶ 単位互換、教員によるオフィスアワーの実施
- 気軽に立ち寄れる情報収集・発信の場 ▶ 学生自主組織「はしっくす」の活動支援

● 教職員に対し

- 早稲大学士との交流により、総合大学的機能へと発展させ、教育力の向上・研究分野の拡大につなげる場
- ▶ 融合領域科目の創設、合同ファカルティ・デベロップメント(FD)、スタッフ・デベロップメント(SD)の実施

● 地域住民に対し

- 各大学を良く知ってもらう情報公開の場 ▶ 各種公開講座、研修会、フィールド観察会などの実施
- 地域活性化の提言と実践を行う場 ▶ 多様な市民活動の活性化支援

● 地元(買物公園)に対し

- 他都市にはないステイタスシンボルとしての信頼を醸成する場
- 「旭川屋」等と連携した地元観光研究・地元振興策に取り組む場

● 産学官に対し

- 起業、ニュービジネス、社会的起業検討の場
- ▶ 異業種交流会の開催・市内中心部での交流事業展開による市民への情報発信
- 気軽に相談し、アイデアを新製品開発に結びつける場

● 他コンソーシアムに対し

- 積極的な情報交換の場
- 来旭希望者の受け入れの場 ▶ ホスピタリティ

● 大学入学への対応

- 高校生・中学生 ▶ 先輩大学生との進路相談の場
- 保護者 ▶ 各大学案内書の配布および説明の場
- 高校教師 ▶ 上記項目の仲介の場

● 卒業・就職への対応

- 学生 ▶ 先輩社会人との相談の場
- 保護者 ▶ 企業情報収集の場
- 大学 ▶ 企業へのPRの場
- 企業 ▶ 大学・学生へのPRの場
- ▶ 学生(保護者)との懇談の場

HI・RO・BA の理念

HI 人が集い

RO 協議する

BA 場

(出典:旭川ウェルビーイング・コンソーシアムHP)

資料 2-2-1 関係規程の整備状況

【知的財産関係】

- ・旭川医科大学知的財産取扱規程（平成 16 年 4 月制定－平成 21 年 4 月改正）
- ・旭川医科大学知的財産管理等に関する委員会規程（平成 16 年 4 月制定－平成 22 年 1 月改正）
- ・旭川医科大学知的財産管理アドバイザーに関する要項（平成 16 年 11 月制定）
- ・旭川医科大学リエゾンオフィス要項（平成 20 年 3 月制定）
- ・旭川医科大学知的財産ポリシー（平成 21 年 7 月制定）
- ・旭川医科大学職務発明等補償金支払細則（平成 21 年 12 月制定・平成 21 年 4 月適用）

【利益相反関係】

- ・旭川医科大学の臨床研究に係る利益相反ポリシー（平成 17 年 10 月制定）
- ・旭川医科大学利益相反審査委員会規程（平成 17 年 10 月制定－平成 20 年 6 月改正）
- ・旭川医科大学の学術研究に係る行動規範（平成 19 年 10 月制定）

（出典：旭川医科大学規程集）

資料 2-2-2 講演会、セミナーの開催状況

【知的財産関係】

開催日：平成 20 年 11 月

演 題：大学における知的財産活動（参加人数 27 名）

講 師：特許庁職員

開催日：平成 20 年 11 月

演 題：大学の知財取組と組織構築（参加人数 27 名）

講 師：本学知的財産アドバイザー

開催日：平成 21 年 7 月

演 題：脳梗塞に対する自己骨髄幹細胞治療（参加人数 25 名）

講 師：札幌医科大学特任教授

開催日：平成 21 年 7 月

演 題：再生医療と特許（参加人数 25 名）

講 師：札幌医科大学准教授

開催日：平成 21 年 10 月

演 題：バイオ・ライフサイエンス分野等における共同研究の成果や成功事例を通じて、「特許の創出、権利化」に向けた実践的な知識・スキルを二段階で習得（参加人数 20 名）

講 師：弁理士

【利益相反関係】

開催日：平成 20 年 12 月

演 題：臨床研究における利益相反について（参加人数 102 名）

講 師：東北大学教授

開催日：平成 21 年 8 月

演 題：臨床研究における利益相反について（参加人数 50 名）

講 師：本学教員

（出典：事務局資料）

資料 3 - 1 - 1 大学院修士課程学生募集要項（抜粋）

2 教育方法の特例

本学修士課程では、大学院設置基準第 14 条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、有職者に対し配慮した教育を実施しています。

教育方法の特例としては、夜間、土曜日、夏季・冬季休業中に開講する講義等を履修でき、研究指導も受けることができます。

3 学位の授与

修士課程を修了した者には、修士（看護学）の学位を授与します。

修士課程の学位は、大学院に 2 年（標準とする。）以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、論文審査（臨床実践看護学領域（がん看護専門看護師養成コース）は、特定の課題についての研究成果を含みます。）及び最終試験に合格した者に与えます。

4 長期履修学生制度

本学修士課程では、職業を有している等の事情によって、標準修業年限（2 年）を超えて一定の期間（3 年又は 4 年）に亘り計画的に教育課程を履修し、修了することを願い出た者については、審査のうえ、これを許可する制度を設けております。

この制度の適用者を「長期履修学生」といい、当該学生の授業料総支払額は、標準修業年限による修了者と同額になります。

この制度の適用を希望する場合は、合格発表後、入学手続案内で定める期間に下記の照会先へ申し出てください。

なお、臨床実践看護学領域（がん看護専門看護師養成コース）の学生は、この制度の適用はありません。

5 免除等の制度**（1）入学料免除及び徴収猶予**

特別の事情により入学料の納付が著しく困難な場合、選考のうえ、入学料の全額又は半額が免除される制度があります。また、特別な事情又は経済的理由により入学料の納付が著しく困難と認められる場合には、入学料の徴収を猶予する制度があります。

（2）授業料免除及び徴収の猶予

経済的理由により授業料の納付が困難な場合、選考のうえ、前期又は後期ごとに授業料の全額又は半額が免除される制度及び授業料の徴収を猶予する制度があります。

6 奨学金制度

（1）本学では、平成 20 年度から大学独自の奨学金制度を設け、本人の申請に基づき支給基準に該当する全員に、授業料の半額相当を奨学金として支給されます。

（2）日本学生支援機構の奨学金制度があり、本人の申請により大学から推薦し、貸与が認められた場合、次の金額が貸与されます。

- ・第 1 種奨学金（無利息） 月額 88,000 円
- ・第 2 種奨学金（利息付） 月額 50,000 円・80,000 円・100,000 円・130,000 円・150,000 円

（※ 本人の希望により貸与額を選択）

7 その他

授業・研究内容、長期履修学生制度その他詳細については、下記照会先にお問い合わせください。

照会先： 旭川医科大学教務部学生支援課大学院・留学生係

電 話： 0166-68-2209

（出典：大学院修士課程学生募集要項）